

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	ノートルダム女学院高等学校
所在地	京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町110
電話番号	075-771-0570

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>創立以来、時代のニーズに応えながらキリスト教精神に基づく〈Virtus et Sientia〉「徳と知」を建学の精神として教育活動を展開してきました。「徳」とは〈愛する〉〈希望する〉〈受容する〉〈共感する〉等に表される人間の内面の力。「知」とは知識や知的能力を超える知恵を意味します。</p>																																										
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>「徳と知」の精神を、「キリスト教育」「グローバル教育」「女子教育」を3つのカテゴリーとして教育の柱にしています。3つの教育を具現化、すなわち「個の尊重」（一人ひとりの可能性の開花）、「心の育成」（ノートルダムスピリットの醸成）を教育プログラムとして、21世紀のLady育成を目指します。</p>																																										
<p>(3) ・令和2年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり <b>なし</b></p> <p>・前回改定 平成 25 年度</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">【1年生】</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">入学金</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">施設拡充費 (入学時)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">授業料</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">施設拡充費等 * (経常的)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">計 (入学時除く)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">考査料</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">150,000</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">580,000</td> <td style="text-align: center;">200,000</td> <td style="text-align: center;">780,000</td> <td style="text-align: center;">20,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">授業料</td> <td style="text-align: center;">施設拡充費等 * (経常的)</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">580,000</td> <td style="text-align: center;">200,000</td> <td style="text-align: center;">780,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">授業料</td> <td style="text-align: center;">施設拡充費等 * (経常的)</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">580,000</td> <td style="text-align: center;">200,000</td> <td style="text-align: center;">780,000</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料		150,000	0	580,000	200,000	780,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					580,000	200,000	780,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					580,000	200,000	780,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																																					
	150,000	0	580,000	200,000	780,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			580,000	200,000	780,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			580,000	200,000	780,000																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>習熟度別クラス制（英語・数学）等、少人数によるきめ細かな授業・授業を補完する計画的な補習等、教師の目が十分に行き届く教育指導体制を引き続き維持し、また、ブレップ総合コース・STEM探求コース・英語グローバルコースの3コース制の導入により、さらに高いレベルでの教育の実践に努めます。納付金の用途については今後も公明性・経営効率に十分留意します。引き続き生徒のよりよい教育環境の維持・更なる充実を第一に考え、各種経費節減に向け鋭意取り組みを強化いたします。</p>																																										
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>21世紀のLady育成を目指す具体的な取り組みとして、「ノートルダム教育・18歳の姿」を計画・実践しています。これは「我々が育てる生徒が卒業時18歳の時点であってほしい姿」というプロフィールを作成、そのゴールに向かって各種取り組みを実践することです。各学年の重点ポイントを設定、諸行事・ロングホーム等の活動に連動させています。施設設備においては、グラウンド整備、生徒1人にipad又はクロームブックを配布したことによる、校内全館wifi設備の導入をいたしました。また、グローバル英語教育の為、ネイティブの教員との交流の場（e-スペース）の整備をし、今後も教室等環境の更なる充実をさせてゆきます。</p>																																										
<p>(5) 令和2年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>家計急変等により学費納入が困難な世帯に対しては、「本校独自の授業料減免制度を適用」し、少しでも授業料の負担が軽減できるように努めます。</p>																																										
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>京都府の「あんしん修学支援制度」「学費軽減制度」の趣旨を尊重し、制度に見合った「本校独自の授業料減免制度」を適用し、保護者様の負担を出来る限り軽減するよう十分留意いたします。</p>																																										